

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム やまなみ
日付	平成18年8月22日
	特定非営利活動法人
評価機関名	ライフサポート
評価調査員	在宅介護経験15年
評価調査員	老人保健施設介護実務経験6年、 居宅支援事業所介護支援専門員経験6年
自主評価結果を見る	(まだリンク先はありません)
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評	<p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>「元気で仕事をしてた頃は、何をしてたんですか?」「うん、百姓しとった」「ここは畑もあるので、腕の見せどころですネ」と言いながら色々話をしていたが、「もうここに来たら、ゆっくり過ごしたいですわ、草取りも、たまにはするけど、野菜を採りに行く事かな」と、自分のペースで過ごしている。「私も農業しとったんやけど、ここでは家事を手伝うことかな」「あんまり体を動かさず、のんびりできるので、うれしい」「みんな良くしてくれるからな」と同じようなことを話してくれた。</p> <p>リビングルームの食卓テーブルで、多くの利用者が寄って、月末にする夕涼み会の準備をしている。ヨーヨー吊りの品物につける釣針をこよりにつけていた。男性も女性も同じものをつくる仕事をしている。こよりなんかは得意中の手仕事です。</p> <p>男性5名、女性4名と男女が同じように生活しているグループホームは珍しいが、利用者のしたい事をさせてあげる支援をしている。職員が無理強いことなく、毎日の生活のリズムを自然に声かけて、「これ手伝って下さい」「お昼に使う野菜を採りに行くか?」「買物と一緒にいってくれる」とタイミング良く声かけて、ずっと座り放しにならないよう気配りをしている。</p> <p>昼食後、食べ終わったら、自分のトレーを台所に持って行くが、不自由な人に「食べ終わったか。持っていったら」と利用者同士が助け合っていることもあり微笑ましい。他にも利用者同士が声を掛け合っていることもあった。</p> <p>畑の多い美しい静かな場所なので、散歩にも気安く行けて、近所の人にも声をかけてもらったり、挨拶のできる環境にもある。</p>
特に改善の余地があると思われる点	次のような提案をした
	<p>まだ、設立して間がないので、施設長や管理者、そして職員が利用者が何を希望しているのか、その気持ちに沿って支援していこうと頑張っている姿は嬉しいが、次のようなことを考えてもらいたい。</p> <p>利用者に話をしたり、話の輪を広げたり、歌を口遊んだりして、雰囲気や自然に活気付けさせるには、職員のきっかけが必要である。そのきっかけづくりは職員間でよく相談して、全職員で共有化して欲しい。</p> <p>グループホームでの生活や環境づくりのために必要なことの原因を家族にもっと詳しく説明し、利用者に関する情報収集や居室の雰囲気作りの必要性等にもっと家族に協力してもらって欲しい。各利用者の生活を支える協力関係を整えてもらいたい。</p>

Ⅰ 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>社長は、自分の親を看た経験から地域の高齢者を大切にケアしていこうという信念で、このグループホームをゆっくり時間をかけて設立した。</p> <p>職員も、地域のグループホームや施設とも交流して、勉強したり、職員間の交流をしながら研修してきた。地域の方々や幼稚園児との交流も積極的にして、色々な行事に招待したり、招かれたりして、地域の中に根付いているという実感を受けた。</p> <p>まだ設立して1年も経っていないが、今後の活動が楽しみである。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>敷地が広く、屋外のスペースで夕涼み会等の行事をして、地域の人や子供さん、他のグループホームや施設の方を招待して、賑やかな催しを楽しむ事が出来る。</p> <p>玄関も、いつも出入り自由になっているので、利用者にとっても、訪問者にとっても気遣いせず気持ちが良い。玄関には、来客用のスリッパの自動消毒乾燥機が備えてあり、気持ちの良いスリッパを出してくれる。</p> <p>夕暮れ時、外のベンチに座って、夕日を見たり、月や星を見ながら過ごすのも、すごくロマンチックである。</p> <p>居室の入口は、職員が一つひとつ手作りの暖簾と表札があり、色と模様違って個性がある。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

Ⅲ ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>今年度グループホームがケアに関して重点をおいていることは、利用者の個別の希望や意志をできるだけ実現してあげ、安心感と信頼感を持ち続けてもらいたいと考えている。</p> <p>又、計画記録の中から、個人の過去の経歴や経験に関する情報の収集と分析、そしてアセスメントをして、介護計画を作る事も重点項目である。</p> <p>一人ひとりの思いや気持ちを良く聞き、その日の生活に結びつける。予め決まったスケジュールはない。今日のことは、利用者の気持ちで決めていく。反対に行事は年間で計画して、地域も巻き込んで実行している。</p> <p>食事の献立も、担当の職員が冷蔵庫や菜園の食材、お届け物等を見て、今までの献立と比べてその日に決める。このように、自由性と協力体制を重んじて生活している。将来の成長を楽しみにしている。</p>		

Ⅳ 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>グループホームを設立されて、まだ10ヶ月余りなので、すべてが今からということである。従って今回、外部評価をさせて頂いた時点で、「認知症ケア」と「計画からケアマネージメント、その記録、モニタリングによるカンファレンス」という流れに関しては課題は多い。サービスにおいても、初期の状況に対する評価として受け止めてもらいたい。</p> <p>外部評価は現状の姿に目線をおいて見ているので、今後はグループホームの発展と共に評価の目線も上昇していきと考えて、今回の結果から次のステップへの活躍を期待している。</p>		